



## 東栄化学工業株式会社

工業用ゴム部品の開発  
社内育成で独創性を重視  
医療分野へも新規参入



伊勢崎市

住所 伊勢崎市香林町2-1284  
TEL 0270-62-7155  
Mail y-seki@toeikagaku.co.jp  
URL https://toeikagaku.co.jp/  
代表者 宇井 聡  
設立 1960年2月22日  
資本金 3,000万円  
従業員 45人



### 企業紹介

当社は1960年に創業した自動車用ゴム部品など、工業用ゴム部品を開発・製造する企業です。

経営理念は社内育成で豊かな個性をつくり、世の中の変化を敏感に捉え、独創性豊かな製品を生み出すことです。

新しい取組として、2015年に医療分野へも参入し、自社製品の上市も行っています。

どのような環境や時代になろうとも、お客様と当社で働く従業員を第一に考え、次の世代へバトンをつないでいきたいと思っています。

### 経緯・背景

国内は人口減少により今後当社の主要分野である自動車台数の減少が想定されていました。そのため、様々な分野への進出を2015年頃より模索していました。2013年に群馬大学重粒子線医学研究センター設置を核とした群馬県がん治療技術地域活性化総合特区指定の際の施策で、医療産業拠点を目指し医療分野へのモノづくり企業の参入促進という項目がありました。具体的には医療ヘルスケア関連製品開発の促進、医療関連産業の育成等、様々なご支援を受けて医療機器分野に新規参入いたしました。

## 健康にやさしく環境に配慮 パートナーを幅広く募集

### 具体的な取組・成果

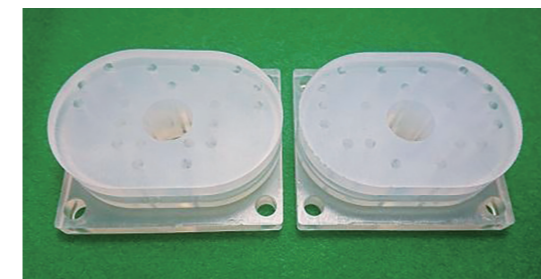
最初に取り組んだのは、群馬県のビジネスマッチングで生まれたレディケアです。こちらの製品は埼玉県医療機器メーカーギネマ様のニーズを受け共同開発にて初めて取り組んだ医療機器製品で、当社の本業のゴム製品の技術を生かしたシリコンゲル製品です。主に出産時の帝王切開の手術跡がみみず腫れのように残ってしまうことを防ぐケアをメインに、幅広い部位での女性の手術跡ケアに使われています。



女性の手術跡ケア用品

次に取り組んだのが、群馬県のコンサルタント事業から生まれたシリコンHDRテンプレートです。創業から約60年間下請け業としてやってきた当社が、初めてメーカーとして開発販売を行う製品です。前立腺がんの放射線治療に使うガイドとして用います。

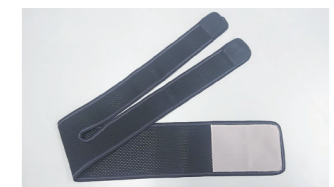
当社として創業以来初めての知的財産の取得にあたっては、群馬県よろず支援拠点の支援を受け意匠登録を取得いたしました。また当ビジネスプランはぐんまビジネスサポート大賞2016努力賞を受賞、グッドデザインぐんま選定商品となりました。



前立腺がん放射線治療用シリコン製品

3番目に取り組んだのが群馬銀行様のビジネスマッチングで取り組んだOne-Band (ワンバンド) です。足利市のH&M.Nishida (西田医院) 様からのニーズを受けて、前橋工科大学 (小田垣研究室) 様と連携し「すべての人に健康と福祉を」という思いで上記2製品に比べ老若男女幅広い対象として生まれたりハビリ・トレーニング用器具です。この製品はケガや病気でリハビリをする方のみならず、健康な人はもちろん、スポーツトレーニングの分野まで幅広く使っていただける製品です。

また医療機器参入でお世話になった地元群馬県に何か恩返しができるかと本業のゴム分野だけでなく「パートナーシップで目標を



リハビリ・トレーニングと幅広く使える

達成しよう」という思いで地場産業である繊維産業とのコラボレーションで取り組みました。

これらの取組を評価していただき、経済産業省からは地域未来牽引企業の選定、群馬県から優良企業表彰ものづくり部門優秀賞を受賞させていただきました。

### 当社にとってのSDGsビジョン

『環境にやさしい会社』

カーボンニュートラルに取り組み、環境はもちろん人・社会にもやさしい会社

『健康に配慮した会社』

社員の健康を第一に医療機器事業を通じ、社会全体の健康を推進できる会社

『いきいきと働くことができる会社』

当社と関わった全ての人がいきいきと働くことができる会社

### 今後の展望と求めるパートナー像

『地域と共に歩む会社』

産学官金連携を通じて医療機器開発を進め、地域社会の活性化に貢献できる会社を目指します。

医療に関する地域課題を解決するために、医療機関はもとより一緒に取り組んでいただける事業者、教育機関、地方自治体、金融機関のパートナーを幅広く求めています。